

PROFILE SHEET

氏名 本田 勝之助（ほんだ かつのすけ）

所属 本田屋本店有限公司／一般社団法人dialogue

役職 代表取締役／専務理事

専門 地域連携、ブランド化、デジタル技術・テクノロジー、その他（サステイナブルツーリズム、SmartCity、伝統芸能・文化プロデュース）

活動地域 全国、中南米、アジア、ヨーロッパ



自己紹介

福島県会津若松市生まれ 早稲田大学政治経済学部卒
2001年 ITベンチャー創業社長（2007年まで）
2004年 現本田屋本店有限公司 4代目代表として事業継承（地域商社事業）
2008年 経産省事業 「地域プロデューサー」という新名称と共に地方創生モデル採択
2009年 内閣府 地域活性化伝道師～現在
2011年 経産省クリエイティブ産業室 地域活性化担当として委員参画
2012年 会津地域スマートシティ推進協議会 事務局長（～2022年）
2012年 資源エネルギー庁（原発立地約20地域振興事業：総合プロデューサー～現在）
2012年 経済産業省 地域活性化キーパーソン研究会委員
2012年 上越市メイドイン上越審査委員長～現在/福山市都市ブランド認定審査委員長～現在
2012年 総務省 地域力創造マネージャー～現在
2014年 霧島市 霧島ガストロノミー ブランド認定 審査委員長～現在
2016年 文化庁 日本遺産統括プロデューサー～2018年、現在日本遺産プロデューサー
2020年 一般社団法人dialogue 専務理事 ～現在
2021年 日本国際観光映像祭 審査員 ～現在

実績

- ・現在はブランド米を手掛ける米問屋でもあり、金田中や銀座久兵衛など名店に扱われ、地域商社として1,000地域商品の問屋として全国に販路先を広げている。
- ・海外にも台湾・上海へ震災前まで2024年にはメキシコに米輸出。
- ・伝統工芸や農業・食、観光、IoT活用になど地域多領域を戦略的にプロデュースするのが特徴。フランスメゾンエオブジェやシンガポール、メキシコ等に産品や伝統工芸等のプロデュースを行ってきた。
- ・3.11直後、会津へのアクセントの誘致と以降のスマートシティ推進を政府各省庁、国内外の大手企業やベンチャーと協業しつつ、その代表企業として推進している（現在もアジアへのスマートシティ輸出はじめ国内各地域からの視察はじめ連携対応を行っている。）。
- ・全国の原発立地地域約20地域、100地域以上の日本遺産認定地域の統括プロデューサーとして担当プロデューサーやクリエイター、コンサルタントなどをプロジェクトチームとしてまとめ事業推進している。

Web <https://hondaya.jp/>
<https://dialogue.social/>

連絡先 honda [アットマーク] katsunosuke.jp